

第 82 回 国 民 体 育 大 会 ・
第 27 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会
長 野 県 準 備 委 員 会

第 2 回 競 技 運 営 専 門 委 員 会



平 成 31 年 4 月 26 日 (金)

長 野 県 ス ポ ー ツ 会 館 2 階 会 議 室

競技運営専門委員会 委員

(委員は順不同、敬称略)

職 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
委員 長	内山 充栄	教育委員会事務局スポーツ課 参事兼課長
副委員 長	茅野 繁巳	公益財団法人長野県スポーツ協会 専務理事
委 員	青柳 智之	一般財団法人長野陸上競技協会 理事
〃	篠原 邦彦	長野県水泳連盟 理事長
〃	中和 昌成	一般財団法人長野県サッカー協会 専務理事
〃	矢島 宏	長野県ソフトボール協会 理事長
〃	奥原 明男	長野車椅子バスケットボール協会 会長
〃	柳澤 正宏	公益財団法人長野市スポーツ協会 専務理事
〃	柴 満喜夫	長野県スポーツ少年団 本部長
〃	半田 直道	公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会 常務理事
〃	小林 京子	長野県総合型クラブ連絡協議会 会長
〃	竹中 雅幸	長野県レクリエーション協会 会長
〃	大日方 博	長野県中学校体育連盟 会長
〃	北村 桂一	長野県高等学校体育連盟 会長
〃	前島 卓	長野県市長会 事務局次長
〃	小川 浩幸	長野県町村会 事務局次長
〃	山田 明子	企画振興部地域振興課 課長
〃	高池 武史	健康福祉部障がい者支援課 課長
〃	大槻 覚	観光部観光誘客課 課長

計19名

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会
第2回競技運営専門委員会 次第

日 時 平成31年4月26日(金) 13:30～15:00
場 所 長野県スポーツ会館 2階 会議室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 委員自己紹介

4 報告事項

- (1) 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会
競技運営専門委員会 委員の変更について
- (2) 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会
第2回常任委員会及び第2回総会における決定事項について

5 審議事項

- (1) 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会
競技運営基本方針(案)
- (2) 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会
実施競技選択基本方針(案)
- (3) 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会
審判員・要資格運営員養成計画(案)

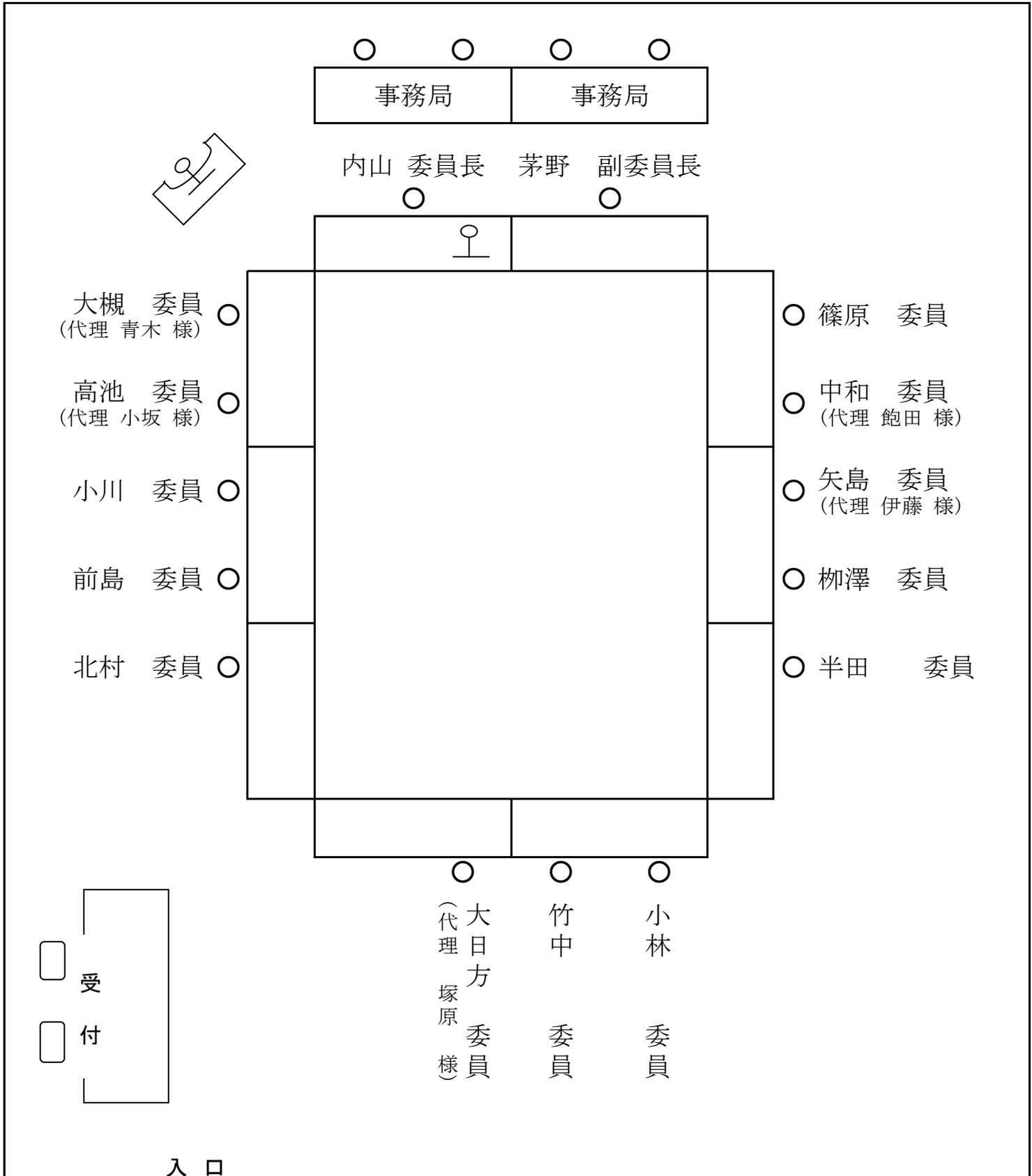
6 その他

7 閉会

第2回競技運営専門委員会 座席配置

日 時 : 平成31年4月26日(金)
13:30~15:00

場 所 : 長野県スポーツ会館2階会議室



報告事項

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会

競技運営専門委員会 委員の変更について

平成31年4月26日現在
(委員は順不同、敬称略)

職名	新任者	旧任者	所属・役職等
副委員長	茅野 繁巳	丸山 隆義	公益財団法人長野県スポーツ協会 専務理事
委員	柳澤 正宏	荒井 恵子	公益財団法人長野市スポーツ協会 専務理事
〃	小林 京子	柳見沢 宏	長野県総合型クラブ連絡協議会 会長
〃	大日方 博	奥田 孝志	長野県中学校体育連盟 会長
〃	北村 桂一	矢島富士雄	長野県高等学校体育連盟 会長
〃	前島 卓	百瀬 一典	長野県市長会 事務局次長
〃	小川 浩幸	岡田 憲輔	長野県町村会 事務局次長
〃	山田 明子	藤森 茂晴	企画振興部地域振興課 課長
〃	高池 武史	守屋 正造	健康福祉部障がい者支援課 課長
〃	大槻 覚	塩原 一正	観光部観光誘客課 課長

審議事項

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技運営基本方針（案）

第 82 回国民体育大会の競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」並びに「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づくとともに、次の方針により実施する。

なお、第 27 回全国障害者スポーツ大会については、別途定めるものとする。

- 1 実施競技の区分は、正式競技、公開競技、デモンストレーションスポーツ及び特別競技とする。
- 2 正式競技、公開競技及び特別競技の運営は、日本スポーツ協会加盟の競技団体（以下「中央競技団体」という。）及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が行うものとする。
デモンストレーションスポーツの運営は、県競技団体等が行うものとする。
- 3 正式競技及び特別競技の競技役員等の編成は、日本スポーツ協会の定める「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」及び「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針」に基づき行うものとする。
- 4 正式競技及び特別競技の競技記録及び成績の収集・速報は、県及び会場地市町村が、競技団体と連携を図り、迅速かつ正確に処理する。
- 5 リハーサル大会を実施する場合は、会場地市町村と競技団体が協力して、運営全般にわたって習熟を図るとともに、各種競技に対する県民の関心を高め、理解を深めるよう努めるものとする。
- 6 その他、競技運営の諸企画及び実施にあたっては、競技団体及び関係機関と十分な連携を図り、適切に行うものとする。

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 実施競技選択基本方針（案）

第 82 回国民体育大会（以下「大会」という。）における実施競技の区分は、本県のスポーツの現状及び大会後におけるスポーツの推進を考慮しながら、次のとおり選択する。

なお、第 27 回全国障害者スポーツ大会については、別途定めるものとする。

- 1 正式競技は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める「国民体育大会開催基準要項」及び「同細則」による競技で、公益財団法人長野県スポーツ協会（以下「県スポーツ協会」という。）に加盟している競技団体の競技とする。
- 2 公開競技は、日本スポーツ協会の定める「国民体育大会公開競技実施基準」による対象競技のうち、日本スポーツ協会に加盟している競技団体の開催意欲を基本に、市町村の希望を考慮して実施競技を選択する。
- 3 デモンストレーションスポーツは、日本スポーツ協会の定める「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」により、正式競技及び公開競技以外の競技のうち、原則として、県スポーツ協会に加盟している競技団体又は県スポーツ協会が推薦するスポーツ・レクリエーション団体（以下「競技団体等」という。）の競技の中から、市町村の希望や競技団体等の意向を踏まえて実施競技を選択する。
- 4 特別競技は、日本スポーツ協会が決定した競技とする。

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 審判員・要資格運営員養成計画（案）

1 趣旨

第 82 回国民体育大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

なお、第 82 回国民体育大会冬季大会及び第 27 回全国障害者スポーツ大会については、別途定めるものとする。

2 基本的事項

下記に基づいて第 82 回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準 [(公財)日本スポーツ協会]
- (2) 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針
- (3) 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針
- (4) 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 <別表 1 >

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。<別表 2・3 >

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第82回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時*1 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成*2 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	448	448	0	448	25	0	25	423	200	223	290
2	水泳	401	183	83	266	49	29	78	188	85	103	139
3	サッカー	387	82	36	118	68	20	88	30	24	6	8
4	テニス	148	104	4	108	0	0	0	108	0	108	142
5	ボート	120	45	10	55	10	12	22	33	30	3	5
6	ホッケー	79	22	12	34	34	0	34	0	0	0	0
7	ボクシング	84	30	2	32	25	0	25	7	4	3	4
8	バレーボール	245	184	80	264	7	16	23	241	134	107	141
9	体操	354	116	0	116	60	28	88	28	18	10	14
10	バスケットボール	313	126	0	126	22	25	47	79	70	9	12
11	レスリング	146	43	0	43	38	0	38	5	3	2	3
12	セーリング	220	25	73	98	31	29	60	38	19	19	27
13	ウエイトリフティング	123	36	5	41	7	21	28	13	9	4	6
14	ハンドボール	151	40	0	40	40	0	40	0	0	0	0
15	自転車	235	102	0	102	20	14	34	68	34	34	45
16	ソフトテニス	140	68	0	68	2	20	22	46	46	0	0
17	卓球	149	53	3	56	2	0	2	54	54	0	0
18	軟式野球	209	70	139	209	14	8	22	187	178	9	12
19	相撲	130	56	0	56	20	12	32	24	13	11	15
20	馬術	200	11	26	37	22	10	32	5	4	1	2
21	フェンシング	102	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
22	柔道	125	37	0	37	30	7	37	0	0	0	0
23	ソフトボール	320	129	51	180	5	16	21	159	62	97	127
24	バドミントン	295	243	0	243	10	12	22	221	95	126	165
25	弓道	148	28	0	28	0	20	20	8	8	0	0
26	ライフル射撃	154	53	10	63	3	35	38	25	10	15	22
27	剣道	112	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	115	48	0	48	10	13	23	25	10	15	20
29	スポーツクライミング	112	40	9	49	13	4	17	32	14	18	24
30	カーヌー	235	98	54	152	22	0	22	130	3	127	166
31	アーチェリー	91	30	0	30	2	8	10	20	14	6	8
32	空手道	175	46	0	46	46	0	46	0	0	0	0
33	銃剣道	88	16	0	16	16	0	16	0	0	0	0
34	クレール射撃	101	26	1	27	15	12	27	0	0	0	0
35	なぎなた	112	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0
36	ボウリング	127	26	6	32	2	0	2	30	11	19	26
37	ゴルフ	158	39	0	39	3	0	3	36	32	4	6
38	トライアスロン	111	111	0	111	6	50	56	55	21	34	46
39	高校野球	127	39	0	39	0	0	0	39	39	0	0
合計		7,090	2,926	604	3,530	752	421	1,173	2,357	1,244	1,113	1,475

※1 開催時従事見込数：2027年の第82回国民体育大会開催時に審判員・要資格運営員として活動できる県内有資格者数
審判員の年齢的(定年制を含む)・体力的条件や審判員以外(選手・監督等)で国体に参加する等の理由により、今後の審判員養成の対象外となるものを除く

※2 養成目標数：原則として、⑨不足数に1.3を乗じた数(1.3倍の安全率は途中で資格取得が困難になった場合の減少数を考慮して設定)

第82回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成(資格取得)年次計画									延養成数
		2019 (8年前)	2020 (7年前)	2021 (6年前)	2022 (5年前)	2023 (4年前)	2024 (3年前)	2025 (2年前)	2026 (1年前)	2027 (開催年)	
1	陸上競技	42	42	42	42	42	42	42	0	0	294
2	水泳	35	37	41	34	21	5	6	16	18	213
3	サッカー	1	1	1	1	1	1	2	0	0	8
4	テニス	0	11	16	36	36	36	30	0	0	165
5	ボート	0	2	1	0	0	0	2	2	0	7
6	ホッケー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	ボクシング	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
8	バレーボール	18	15	22	16	24	16	25	16	25	177
9	体操	4	4	4	5	4	8	5	1	0	35
10	バスケットボール	2	3	2	2	3	3	1	0	0	16
11	レスリング	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
12	セーリング	0	10	2	1	7	9	5	5	0	39
13	ウエイトリフティング	0	2	2	3	2	1	0	0	0	10
14	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	自転車	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45
16	ソフトテニス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	卓球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	軟式野球	0	2	2	2	2	2	2	0	0	12
19	相撲	0	1	1	1	1	2	3	3	3	15
20	馬術	0	0	1	0	0	2	0	0	2	5
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	ソフトボール	24	5	26	6	26	14	26	0	0	127
24	バドミントン	30	30	30	30	30	30	23	20	5	228
25	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	ライフル射撃	6	6	6	6	6	2	0	0	0	32
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	2	2	2	2	2	2	4	4	3	23
29	スポーツクライミング	0	4	0	2	2	4	8	8	0	28
30	カーヌー	5	5	1	2	23	41	48	53	0	178
31	アーチェリー	4	2	2	2	2	0	0	0	0	12
32	空手道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	クレール射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	ボウリング	4	10	4	14	4	13	0	0	0	49
37	ゴルフ	2	1	1	1	1	1	0	0	0	7
38	トライアスロン	10	9	8	9	8	9	8	7	7	75
39	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		196	213	223	223	252	248	245	140	68	1,808

第82回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成(資格維持・資質向上)年次計画									計
		2019 (8年前)	2020 (7年前)	2021 (6年前)	2022 (5年前)	2023 (4年前)	2024 (3年前)	2025 (2年前)	2026 (1年前)	2027 (開催年)	
1	陸上競技	200	242	284	326	368	410	452	452	452	3,186
2	水泳	82	106	129	156	182	200	204	202	209	1,470
3	サッカー	24	25	26	27	28	29	30	32	32	253
4	テニス	0	0	6	16	46	76	112	142	142	540
5	ボート	35	33	34	35	35	35	33	33	35	308
6	ホッケー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	ボクシング	4	6	8	8	8	8	8	8	8	66
8	バレーボール	130	148	155	177	185	209	217	242	250	1,713
9	体操	25	30	34	36	39	43	46	51	52	356
10	バスケットボール	80	79	80	80	79	79	81	82	82	722
11	レスリング	5	4	5	5	6	6	6	6	6	49
12	セーリング	0	0	10	10	11	12	16	16	16	91
13	ウエイトリフティング	15	13	13	12	13	14	15	15	15	125
14	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	自転車	34	39	44	49	54	59	64	69	74	486
16	ソフトテニス	46	46	46	46	46	46	46	46	46	414
17	卓球	54	54	54	54	54	54	54	54	54	486
18	軟式野球	190	188	188	188	188	188	188	190	190	1,698
19	相撲	13	13	14	15	16	17	19	22	25	154
20	馬術	4	4	4	5	5	5	7	7	7	48
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	ソフトボール	62	86	91	117	123	149	163	191	191	1,173
24	バドミントン	85	105	125	145	165	185	212	235	255	1,512
25	弓道	8	8	8	8	8	8	8	8	8	72
26	ライフル射撃	10	14	18	22	26	30	32	32	32	216
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	11	13	15	17	19	21	23	27	31	177
29	スポーツクライミング	14	14	18	18	20	20	24	24	32	184
30	カーヌー	2	7	10	11	14	37	78	133	183	475
31	アーチェリー	12	16	18	20	20	22	22	22	22	174
32	空手道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	クレール射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	ボウリング	9	7	17	11	25	18	31	31	31	180
37	ゴルフ	36	37	37	37	37	37	38	38	38	335
38	トライアスロン	17	23	29	33	39	43	49	55	60	348
39	高校野球	39	39	39	39	39	39	39	39	39	351
合計		1,246	1,399	1,559	1,723	1,898	2,099	2,317	2,504	2,617	17,362

參考資料

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1 基本方針

第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会は、全ての県民の元気と力を結集して、夢、勇気、感動などスポーツの持つ限りない力と、本県の多彩な魅力を発信する大会として開催します。

大会の開催に当たっては、大会運営の簡素化・効率化を図るとともに、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造と、地域の魅力発信による経済の活性化等を通じて、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) “スポーツ”で長野県を元気にする大会

人生100年時代と言われる今、スポーツを健康に活かした取組を推進し、スポーツを通じた“健康長寿世界一の信州”の実現を目指すとともに、観光資源とスポーツ資源を融合させた地域活性化等にも取り組み、元気な長野県を推進する大会とします。

(2) “スポーツ”の振興を支える好循環を創出する大会

長野県の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次世代の選手を育成するなど、将来にわたり本県のスポーツ振興を支える好循環の形成に努めるとともに、子どもたちが夢や希望を未来へとつなぐことができる大会とします。

(3) “スポーツ”で共生社会づくりを加速する大会

障がい者の社会参加の推進と社会の障がい理解を促進するとともに、障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた交流を拡大するなど、誰にでも「居場所」と「出番」があり、多様性を尊重する共生社会づくりを力強く後押しする大会とします。

(4) “スポーツ”の環境づくりを推進する大会

少子高齢化社会を迎え、地域ごとに求められるスポーツ施設に対する需要が変化していく中であって、将来にわたり安全で、適正なスポーツ施設環境を提供するとともに、誰もが生涯を通じて気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進する大会とします。

(5) “スポーツ”が長野県のファンを増やす大会

豊かな自然環境、美しい景観など数々の長野県の誇れる魅力を県民一人ひとりが見つめ直し、県内外に発信するとともに、全国から訪れる数多くの来県者を温かいおもてなしの心で迎え、一人でも多くの方に長野県のファンとなっただけの大会とします。

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針

第82回国民体育大会（以下「国体」という。）及び第27回全国障害者スポーツ大会（以下「全障スポ」という。）における競技役員等の編成は、両大会における競技会の運営が円滑に行われるよう、次の方針に基づき実施する。

1 基本方針

(1) 国体の競技役員等の編成は、公益財団法人日本体育協会の定める「国民体育大会開催基準要項（以下「要項」という。）」及び同細則並びに「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」に基づき、競技運営専門委員会（以下「専門委員会」という。）において審議を行い、会場地市町村及び県・中央競技団体と十分協議し、常任委員会において決定する。

なお、全障スポの競技役員等の編成は、専門委員会において審議を行い、会場地市町村、競技団体等と十分協議し、常任委員会において決定する。

(2) 競技役員等の編成は、1人1競技を原則として、県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、できる限り県内役員とし、競技団体及び会場地市町村の実情に即し、必要最低限の数により最大の効果をあげることができるよう適正な配置を行う。

(3) 競技役員等の編成は、競技団体及び会場地市町村関係者のみならず、広く県民の積極的な参加と協力が得られるよう配慮する。

2 競技役員等の種類、定義及び編成方法

(1) 競技役員等の種類、定義及び編成方法は、次のとおりとする。

ア 主に競技会（試合等）運営に携わる役職

役職名	定義	編成方法
競技会役員	要項第23項第2号の規定に該当する者(国体のみ)	名誉会長、会長、副会長、顧問、参与、委員長、副委員長及び委員とする。
競技役員	審判員	直接競技の審判に携わる者 原則として、県内有資格者をもって編成することとし、必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含めて編成する。
	運営員	直接競技会の運営に携わる者(審判員を除く) 原則として、県競技団体関係者と会場地市町村関係者等をもって編成することとし、必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含めて編成する。
競技補助員	競技役員の仕事の補助に携わる者	会場地市町村及び周辺市町村に在住する当該関係者をもって編成する。

イ 主に競技会場運営に携わる役職

役職名	定義	編成方法
競技会係員	宿泊、輸送、歓迎、駐車場等の競技会を支援する間接的な業務に携わる者	会場地市町村関係者等をもって編成する。
競技会補助員	競技会係員の業務の補助に携わる者	会場地市町村及び周辺市町村に在住する者をもって編成する。

(2) 競技役員等の編成案は、会場地市町村が競技団体等と協議のうえ作成し、専門委員会において審議を行い、常任委員会において決定する。

3 競技役員等の調整

競技役員等の編成にあたり、重複して他の競技役員等や関係役員等（監督、コーチ、選手及び集団演技関係役員等）となる可能性がある場合は、原則として次により関係者が協議して調整する。

- (1) 監督、コーチ及び選手と競技役員等の重複については、監督、コーチ及び選手を優先する。
- (2) 2競技以上にわたる競技役員等の重複については、その業務内容により、関係者が協議して調整する。
- (3) 同一競技における競技役員等の重複については、その業務内容により認める。
- (4) 開・閉会式及び集団演技関係役員等と競技役員等の重複については、その業務内容により認める。

4 業務内容

競技役員等のうち、競技役員、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の想定される業務内容は、概ね次のとおりとする。

(1) 主に競技会（試合等）運営に係る業務内容

役職名		業務内容
競技役員	審判員	総務、運営、審判、記録、出発、観察、放送、召集、掲示、進行、報道表彰、救護、得点掲示、記録送受信、総合成績計算、会場 等
	運営員	
競技補助員		競技役員業務を補助する。

(2) 主に競技会場運営に係る業務内容

役職名	業務内容
競技会係員	総務、受付案内、接待、宿泊、輸送、会場整理、警備、施設管理、会場美化、練習会場、駐車場、弁当、入場券販売、プログラム販売 等
競技会補助員	競技会係員業務を補助する。

5 その他

第82回国民体育大会冬季大会については、別途定めるものとする。

国民体育大会（71回～75回） デモンストレーションスポーツ 実施状況

		71回 岩手	72回 愛媛	73回 福井	74回 茨城	75回 鹿児島
種目数		29	28	36	31	36
ウォーキング系		ウォーキング オリエンテーリング ウォークラリー	ウォーキング ノルディックウォーク	ウォーキング オリエンテーリング	ウォーキング オリエンテーリング	ウォーキング 史跡巡りウォーキング 歴史探訪ウォーキング
ランニング系		マラソン		キッズトライアスロン	トレイルラン リレーカーニバル	マラソン
体操系		3B体操 ラジオ体操	3B体操 トランポリン	3B体操 一般体操	3B体操 いきいきトランポリン	3B体操 ラジオ体操 ジャズ体操
ダンス系		エアロビック ダンススポーツ	エアロビック	エアロビック バトン	エアロビック ダンススポーツ ダンス&パフォーマンス	エアロビック ダンススポーツ
武道系		武術太極拳	合気道 日本拳法	武術太極拳 真向法 少林寺拳法	合気道 少林寺拳法	真向法体操 少林寺拳法
球技	バレーボール系	ソフトバレーボール		ソフトバレーボール シルバーソフトバレー ママさんバレー	ソフトバレーボール	ソフトバレーボール ママさんバレー ミニバレー ミニバレーボール
	テニス系	バウンドテニス	バウンドテニス ブラインドテニス	バウンドテニス エスキーテニス	バウンドテニス パンポン	バウンドテニス
	ゴルフ系	ターゲット・バードゴルフ パークゴルフ マレットゴルフ リレーション3	ターゲット・バードゴルフ グランド・ゴルフ ゲートボール	グラウンド・ゴルフ ディスクゴルフ マレットゴルフ ゲートボール	ターゲット・バードゴルフ ディスクゴルフ パークゴルフ レク・クロッケー ふれあいグラウンド・ゴルフ	ターゲット・バードゴルフ ディスクゴルフ ドライビングコンテスト パークゴルフ ふれあいグラウンド・ゴルフ
	ホッケー系	少年少女ホッケー ネオホッケー		6人制ホッケー		
	サッカー				少年少女サッカー	少年サッカー
	野球			還暦軟式野球	少年軟式野球	
	ドッジボール			ドッジボール	ドッジボール	ドッジボール
	卓球			ラージボール卓球		
	バスケット			ミニバスケット		
	ビーチ ウォーター系	サーフィン シーカヤックマラソン ビーチバレー	マリンスポーツ カヌーツーリング駅伝	ビーチラグビー カヌーポロ	ビーチハンドボール Eボート ビーチバレー	サーフィン ビーチフラッグス 遠泳 ボート（フネインカー競漕）
自転車系	ヒルクライム		サイクリング		サイクリング ランニングバイク	
ディスク系	フライングディスク	カーリング カローリング ディスクン	スティックリング	ユニカール	フライングディスク	
その他	ペタンク スポーツ吹矢 スポーツチャンバラ インディアカ ビリヤード 室内雪合戦 クップ	ペタンク スポーツ吹矢 スポーツチャンバラ インディアカ ビリヤード アームレスリング パラグライディング 近代3種 クライミング ダーツ ダブルタッチ	ペタンク スポーツ吹矢 スポーツチャンバラ インディアカ パラグライダー ウッズスポーツ ポート （ローイングエルゴメーター）	ペタンク スポーツ吹矢 アームレスリング スポーツ鬼ごっこ ハングライダー	ペタンク スポーツ吹矢 スポーツチャンバラ ビリヤード 少年相撲 お手玉	

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針

第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会における競技役員等の養成は、競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を図り、両大会後も各競技の普及・強化につなげるために、次の方針に基づいて計画的に推進する。

- 1 競技役員等については、中央競技団体と連携のうえ、できる限り県内有資格者により必要人数を確保することを目標として養成する。
- 2 競技役員等は、円滑な競技会運営を図るため、各役員の負担軽減を考慮し、1人1競技を原則として養成する。
- 3 競技役員等は、県、会場地市町村、競技団体等の業務分担を明確にし、十分に連携を図りながら計画的に養成する。
- 4 資格が必要な競技役員については、資格取得及び資質の向上が重要となることから、各競技団体ごとに年次別養成計画を策定し養成する。
- 5 資格が必要のない競技役員等については、本県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、広く県民の積極的な参加と協力を呼びかけ、各競技会場地及びその周辺において、できる限り確保できるよう養成する。
- 6 第82回国民体育大会冬季大会については、別途定めるものとする。

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本計画

第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の競技運営に当たる競技役員等の養成については、「第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針」及び「第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針」に基づき、「第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画」を作成し、計画的かつ円滑な事業の推進を図る。

1 養成対象

競技役員（審判員・運営員）、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員を養成の対象とする。

2 業務分担

- (1) 競技役員（審判員・運営員）及び競技補助員については、競技団体がその養成を行う。
- (2) 競技会係員及び競技会補助員については、県又は会場地市町村が関係団体と十分協議し、その養成を行う。
- (3) 県は、競技団体及び会場地市町村と連携を図り、競技役員等の養成計画の推進に努める。

3 養成方法

- (1) 競技役員（審判員・運営員）の養成方法については、次のとおりとする。
 - ア 県内講師による県内講習会
 - イ 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会
 - ウ 中央及びブロックの競技団体主催の講習会への派遣
 - エ 中央及びブロックの競技団体主催の大会への派遣
- (2) 競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の養成方法については、次のとおりとする。
 - ア 県内講師による県内講習会
 - イ 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会

4 養成実施年次計画

競技団体及び会場地市町村は、下記基準を参考に具体的な養成計画を作成する。

区分・内容			年 度								
			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
			8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
競技役員	審判員	中央講習会等派遣 県内講習会	← 資格取得、資格維持、資質向上 →								
	運営員	要資格 運営員	← 資格取得、資格維持、資質向上 →								
		その他 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会	← 養成・資質向上 →							
競技補助員		県内講習会	← 養成・資質向上 →								
競技会係員		県内講習会	← 養成 →								
競技会補助員		県内講習会	← 養成 →								

5 その他

第82回国民体育大会冬季大会については、別途定めるものとする。

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催に向けたスケジュール

年度		開催手続等	推進体制等
事前対応		H29.3 2月定例県議会で「両大会の招致に関する決議」が全会一致で可決	
2017年度	10年前	開催の内々定(7/18) (開催申請書提出順序の了解)	開催要望書の提出(5/22) <ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会の設置 ・常任委員会の設置 ・専門委員会の設置 (総務企画・競技運営)
2018年度	9年前	<ul style="list-style-type: none"> ・[総合開・閉会式会場]の選定 ・[競技会場地市町村(第1次分)]の選定 ※ いずれも11/9決定	競技次にわたり選定 <ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会総会 ・常任委員会 ・各分野の専門委員会の設置(順次) ※ 上記の各会議において、開催準備に関する諸事項を審議・検討
2019年度	8年前		
2020年度	7年前	国体「正式競技」の決定(日体協) ※ 4年ごと見直し	
2021年度	6年前	中央競技団体の 正規視察	
2022年度	5年前	国体「公開競技」の決定 開催の内定 全障スポ「実施競技」の決定(日障スポ協)	国体「公開競技」申請 開催申請書の提出
2023年度	4年前		
2024年度	3年前	国体「デモンストレーションスポーツ」の決定 (文科省・日スポ協) 会場地総合視察 開催の決定	国体「デモンストレーションスポーツ」申請 実行委員会の設置
2025年度	2年前		
2026年度	1年前	国体・全障スポリハーサル (プレ大会)	
		第82回国民体育大会(冬季大会) 開催	
2027年度		第82回国民体育大会(本大会)・第27回全国障害者スポーツ大会 開催	

競技運営専門委員会の主な審議事項のスケジュール(案)

年度	開催手続	競技役員等の編成及び養成に関すること	大会実施競技に関すること	競技運営等に関すること	競技用具の整備に関すること	リハーサル大会に関すること
2017年 開催10年前	内々定	編成基本方針 養成基本方針 養成基本計画				
2018年 開催9年前		競技役員等に関する基礎調査		競技運営基本方針	競技用具の調査 競技用具整備基本方針	
2019年 開催8年前		審判員・要資格運営員養成計画	実施予定競技選択基本方針 公開競技・デモスポ実施基本方針		競技用具整備要項	
2020年 開催7年前			国体「正式競技」決定			
2021年 開催6年前	中央競技団体正規視察			国体公開競技・デモスポ実施競技の検討・選定 全障スポオープン競技実施競技の検討・選定 国体・全障スポの融合や相互連携の取組の検討		
2022年 開催5年前	開催申請書の提出 内定		国体「公開競技」決定 全障スポ「個人・団体競技」決定		競技用具の整備	
2023年 開催4年前						リハ大会開催基準要項
2024年 開催3年前	会場地総合視察 決定		国体「デモスポ」、全障スポ「オープン競技」決定	競技運営に係る記録業務基本計画		
2025年 開催2年前				競技運営に係る記録業務運営要項		
2026年 開催1年前		競技役員等編成				国体・全障スポリハーサル大会(プレ大会) 第82回国民体育大会(冬季大会)
2027年 開催年						第82回国民体育大会(本大会)・第27回全国障害者スポーツ大会

※ 「競技役員等」…主に競技会(試合等)運営に携わる役職である「競技会役員」、「審判員」、「運営員」及び「競技補助員」並びに主に競技会場運営に携わる役職である「競技会係員」及び「競技会補助員」